

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業J-D*	事業名
一般	10	01	03	0401	家庭教育力向上事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	---

《事業目的》

就学前教育の充実

《事業開始の背景》

家庭を取り巻く環境変化により、基本的な生活習慣が身につけていない子どもが見受けられ、小学校入学後の学校生活に適応出来ないことから、家庭と連携した事業として取り組みを開始した。

《事業概要》

- 就学前教育振興会議の開催
市教委、関係課、校長会、幼稚園・保育園長及び保護者代表
- 保護者、家庭の教育力を高めるための情報提供
ニコニコガイドの発行による情報提供、保護者対象講演会等の実施
- 保育園・幼稚園・小学校の連携に基づく施設の教育力の向上
相談対応の充実、保育・教育内容の充実

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

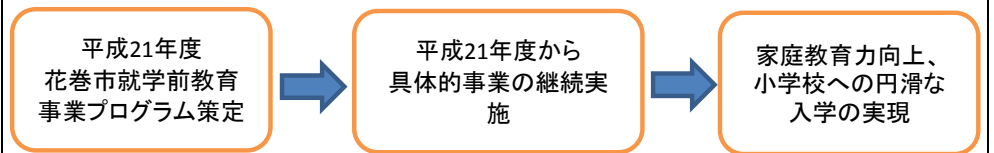
	項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)
①	基本的生活習慣が身につけている子どもの割合	%	目標	80	80	
			実績	80	78	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
人づくり	教育部	こども課	牛崎 充人	9-30-342

		25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費		895	1,870		1,870	916
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	895	1,870		1,870	916

《事業手法の詳細》

【事業手法の詳細】



【平成25年度事業費の内訳】

- 事業費合計 895千円
内訳) 各種研修開催費用 (講師報償費、会議資料消耗品費、湯茶等)
ニコニコガイド印刷費
家庭教育相談に係る資料等の送料

●事業内容

<家庭における教育力の向上>

- 【保護者向け講演会】保護者の取り組み事例報告、講師による講演 年1回
- 【子育て支援研修会】保護者懇談会等を活用した講演会の講演会・研修会等の実施 (公立園毎の実施)
- 【ニコニコガイドの発行】年1回、保育園、幼稚園、関係機関へ配布 (広報掲載併用)

<保幼小の連続性を考慮した保育・教育の充実>

- 【公開保育・教育研究会】年1回
- 【次年度就学児教育相談】教育相談員

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業J-T*	事業名
一般	10	01	03	0401	家庭教育力向上事業

総合計画	政策	地域で支える子育てと教育のまちづくり	施策	4-2	活力と特色ある学校教育の充実
目的	就学前教育の充実				
対象	①就学前幼児の保護者 ②保育園・幼稚園・小学校職員、地域住民				
意図	対象①) 健全な子どもの育成のためには、家庭の努力も必要であるという意識が高まる。 対象②) 家庭、保育園・幼稚園・小学校、地域が連携し、子どもの健全育成に努めようという意識が高まる。				

《環境変化、意見・要望》

《事業概要》

- 就学前教育振興会議の開催
市教委、関係課、校長会、幼稚園・保育園長及び保護者代表
- 保護者、家庭の教育力を高めるための情報提供
ニコニコガイドの発行による情報提供、保護者対象講演会等の実施
- 保育園・幼稚園・小学校の連携に基づく施設の教育力の向上
相談対応の充実、保育・教育内容の充実

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	就学前教育の充実、その後の義務教育等へのスムーズな移行を実現する上で非常に重要であり、公的機関（教育委員会）が、公立、法人を問わず、より良い方向性を示し、誘導することが重要であることから、公共的関与は必然である。
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	毎年度、当該事業の成果向上のための事業を継続的に実施しており、着実に成果が上がっているが、今後も継続的な事業実施により、更に成果が期待出来る。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	未就学児童のいる家庭や保育・教育施設に向けたソフト事業であり、削減の余地がない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	認可外の乳幼児、在宅の乳幼児も含めた市内全未就学児を対象とした事業であり、受益機会は平等である。

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	25年度(計画)
① 家族でニコニコチャレンジに取り組んだ家庭の割合	%	計画	90	90	
		実績	90	94	
② 保育園・幼稚園が連携に関わる学習参観を実施した平均回数	回	計画	2	2	
		実績	2	2	
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	25年度(計画)
① 基本的な生活習慣が身についている子どもの割合	%	目標	80	80	
		実績	80	78	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

《総合評価》

家庭における教育力の向上のため、情報提供や「家族でニコニコチャレンジ」等を実施したことにより、保護者への意識啓発につながった。「家族でニコニコチャレンジ」へ取り組んだ家庭の割合は増加したが、保護者の捉え方が厳しく、基本的な生活習慣が身につけている子どもの割合は微減している。

要因分析	達成度	<input type="checkbox"/> 目標値より高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね目標値どおり	<input type="checkbox"/> 目標値より低い
平成21年5月18日に策定した花巻市就学前教育プログラムにおいて、家庭、保育所・幼稚園・小学校、地域が連携し取り組むことの必要性和具体的な取組みを示したが、家庭における教育力の向上のための「家族でニコニコチャレンジ」等の実施や、保幼小の連続性を考慮した保育・教育の充実に係る取組みの継続的実施により、取り組む家庭が増えてきている。				